

---

# スマ村のみんなの生活

スマッシュ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

スマ村のみんなの生活

### 【Nコード】

N8261Y

### 【作者名】

スマッシュ

### 【あらすじ】

長くなると思いますががんばります  
みんな見てくれよ。

その前のみんなは行く準備 プロローグ（前書き）

さて、かききれるかな？

## その前のみんなは行く準備 プロローグ

キノコ王国

こんこん・・・

???「マリオさんとルイーダさんお手紙です」

マリオ「おおパレッタご苦労さんどこからの手紙？」

パレッタ「えーと、この世界のマスターハンドさんからです」

マリオ「また、あいつか・・・」

ルイーダ「そうだね・・・」

???「こんにちわ」

マリオ「あれ？ピーチ姫？何しているんですか？」

ピーチ「私にもその手紙と同じ内容よ。もしかしてまだ、読んでない？」

マリオ「うつうん・・・」

ピーチ「読んでみれば？」

ルイーダ「兄さん読んでみよう！」

封筒の中にはこんな手紙があった。

マリオ殿へ

マリオさん、あなたはスマッシュブラザーズ一員なので今から至急この世界へ来てください。

この手紙を持って来てください。では、後ほど。

マリオ「ふーん」

ルイーダ「行こうよ兄さん」

マリオ「ああそうだな！」

ピーチ「うふふふ」

ジャングル

???「うほ〜」

???「うきやきやきや」

こいつらはドンキーとデイディーである。

ドンキー「うほ〜（おい、デイディーこの手紙なんだ？）」

デイディー「うきゃきゃ（これはマスターハンドからの手紙だよ）」

ドンキー「うほうほ（じゃあこの世界へ行けばいいんだな？）」

デイディー「うきゃうきゃ（そうだよ！）」

こうして二匹は走って行きました。

ヨツシーアイランド

緑ヨツシー「ねえこれなんだと思う？」

赤ヨツシー「えーとなんだろう？」

青ヨツシー「食べ物でもねーしな」

緑ヨツシー「これはスマブラの主催者からの手紙だよ！だから、これを持って僕は出かけるから留守番していてね」

クツパ城

カメツク「クツパさま城にこんな手紙が・・・」

クツパ「何だと・・・」ボカツ

カメツク「グへ〜〜」

クツパ「そうかそうか、よし！」

カメツク「どうかされましたか？クツパ様？」

クツパ「5年くらい留守番しておいてくれ今から用事があるからな  
！」

カメツク「ごつ5年ですか？」

クツパ「そうだからと留守しとけよ！」

クツパは自分専用の飛行機で飛んでいった

そしてワリオは

???「ワリオ〜〜手紙だぜ〜〜」

ワリオ「何だワルイージそうぞうしいな！んっ手紙がかせっ！」ド  
カン

ワルイージ「ぐぎゃ！」

ワリオ「フムフムよしワルイージちよつと行ってくる」

ワルイージ「んが？なんだ？ワリオどこか行くのか？」

ワリオ「ああちよつとな」

ワルイージ「俺も連れてつてくれ」

ワリオ「駄目だぜ。じゃあな」

ワリオはバイクを取り出し走っていった。

ハイラル王国（城にて）

???「オゝゼルダ」

ゼルダ「あらリンクどうしました？」

リンク「こんな手紙が届いたんだよ。ゼルダも届いてる？」

ゼルダ「うんあるよしかも2つ・・・」

リンク「なぜ？」

ゼルダ「シークもだつて」

リンク「そうだったね」

???「俺も誘われたぜ！リンク！」

リンク「お前はガノンドロフ！」

ガノンドロフ「ふんまたお前とやれるとは久しぶりだな」

???「ふふふふ・・・」

リンク・ガノンドロフ「いつの間になつていたんだ、シーク？」

シーク「面白すぎてマスクで隠しているんだよ。以降じゃないか

この世界の所に！」

シークは急にゼルダに戻った

ゼルダ「じゃあ行きましょう」

リンクたちは馬に乗って行きました。

もうひとつの国

???「ちゃんと行かしてくれるかな？」

???「何しているんだリンク？」

リンク（トウーンリンク）「うわあ、驚いたよ、テトラ！」  
テトラ「いや、さっきからこそしていたからなんだろうと思  
ったからな」

トウーン「いやさっきこんな手紙が届いて・・・」

テトラ「なら行けばいいじゃないか！」

トウーン「ありがとう」

トウーンリンクは船で行きました。

スターシップ内部

???「何かしら？いきなりでたこの手紙は？」

10分間後

サムス「ふーん。じゃあ行こうかな」

エンジエランド

???「わっいきなり紙が飛んできた！」

ピット「えーとなになに・・・よしじゃあ行こう！」

どこかの山

???「これ何、ナナ？」

ナナ「手紙でしょ、ポポ」

ポポ「うんそうだけどまあ一様読んでみよう・・・」

ナナ「じゃあ行きましょう」

ポポ「そうだね！」

二人は山を降りて行きました。

研究室

ロボット「エート、コノブンハますたーはんどカラデスネフムフム・  
・ハイキマシヨウ」

プププランド

???「ぼよぼよ（ルンルン）」

???「おい、カービィ！」

カービィ「ぼよ、ぼよよ？（なに、メタナイト？）」

メタナイト「お前宛に手紙だ。しかし私にも届いているんだがな」  
カービィ「ぼよ・・・ぼよっ！（ふーん・・・よし、行こう！）」

メタナイト「その意気だカービィ！」

???「待てゾイ！」

メタナイト「デデデ陛下もですか！」

デデデ「そうゾイ！我輩も行くゾイ！」

ホコタテ星のホコタテ運送会社

???「オリマー先輩手紙ですよ」

オリマー「ありがとうルーイ君・・・ふーん」

ルーイ「どうしました？先輩？」

オリマー「ちよつと社長に5年の休暇をもらえないか聞いてくる」  
ルーイ「5年もそんなに休暇もらえないと思いますよ」

5分後

オリマー「もらえた・・・」

ルーイ「なぜ！？（すげ〜）」

オリマー「知らないよ」

フォックスとウルフとファルコ

フォックス「よし、ん？なんだメールか？誰からだろう？」

ファルコ「おいフォックス、お前のところにもきたのか」

ピコーンピコーン

フォックス「ムッ！」

ファルコ「奴のおでましか・・・」

ウルフ「だーれが奴だつて？ムッなんだ、これは・・・」

フォックス「まさか！」

ファルコ「そのまさかだろうな」

ウルフ「フォックスまさかお前も・・・」  
フォックス「ああそうだと」  
ウルフ「・・・・・・・・」

とあるレース場

???「うお～～」

???「むお～～」

2つの車がぶつかりあっていた

???「今日こそ負けないぞ、ファルコン！」

ファルコン「ほう勝つ自信があるのか、しかしお前の嫌いなカーブがあるぞ」

???「ぐわ～～」ドカ～～ン

ファルコン「よし勝った！」

???「おいファルコン手紙だぞ」

ファルコン「おおさんきゅうなになに・・・ほうそうか、すまんが俺一時レースができなくなる用事ができたすまん」

???「そうなの？なら仕方ないや」

ファルコン「行ってくるぜ！」

ポケモンギルド

ピカチュウ「へー」

ポツチャマ「どうしたの」

ピカチュウ「ちょっと親方様に聞いてくることができたから聞いてくる」

10分後

ピカチュウ「やったー」

ポツチャマ「どうしたの？」

ピカチュウ「今日から5年間違う世界に行つてくると言ったら・・・

プクリン「行つてきなよ」・・・と言われちゃったよ」

ポツチャマ「じゃあなぜ10分かかるのさ？」

ピカチュウ「……………」

ポッチャマ「言えないのか……」

ピカチュウ「まあ、僕は行く準備するからね。あっそういえばルカリオとプリンも同じこと言ってたよ」

ポッチャマ「プリンはともかくなぜルカリオ……!?」

ピカチュウ「まあ、目的は同じなんじゃない?まあ、いいやいつてきまゝす」

ポッチャマ「行ってらっしゃい……」

マサラタウン

ポケモントレーナー（レッド）「よし、またこいつらを使えるなんて久しぶりだな」

オーキド博士「おおレッド君もう行く準備が出来とるのかね早いのか」

レッド「あっ博士!はい今日のうちに出発するので」

オーキド博士「そうかいそくかい、では気お付けて行くのだぞ!」

レッド「はいっ、行ってきます!」

アカネイア大陸の城

「……あの……マルス?」

マルス「なに?今行く用意しているからそこで用件を言って」

「……何の用意をしていらっしゃるのですか?」

マルス「何かって5年間違う世界の仲間たちと暮らすんだって」

「……そうですか……では、行ってらっしゃい……」

マルス「うん、行ってくる」

クリミア王国にあるグレイル傭兵団基地

「……よしこれで、いいな」

「……お兄ちゃん何しているの」

アイク「ん?ミストか?」

ミスト「いったい何しているの」

アイク「いや、どうしたらこのラグネルが入るか試していてんだが入らないだから、手で持っていくよ」

ミスト「いったいどこへ行くのよ」

アイク「前俺がいなかった日に行っていたところだ」

ミスト「ふーん、何か食べ物ほしい？遠いんでしょう？おにぎり作ってあげるからまってて」

アイク「分かった」

オネット

???「ママ僕また行きたい場所があるから行っていい？」

お母さん「いつまでいるの、ネス？」

ネス「5年間・・・」

お母さん「5年間！？まあいいわ行つてきなさい」

ネス「ありがとうママ」

ノーウェア島タツマイリ村

???「ねえ父さん行つてきてもいいかな？」

フrint「そうだなあ、ヒナワにでも聞いてみるリュカ」

リュカ「お母さんに聞いてもいいないよ」

フrint「仕方がない、行つてこい」

リュカ「やったーありがとう。あつてもどうしようへビヒモはダスターに返したしな」

フrint「また借りればいいじゃないか」

リュカ「うんそうだね」

平面世界

???「ぴぴぴぴぴ（さっそく行こう）」

即終了！

シャドーモセス島

???「なんだ?いきなり無線が・・・こちらスネークなんだ?」

???「スネーク!マスターハンドから手紙がきてるぞ!」

スネーク「ふむ、そうか、今戻る!」

ソニックたちが住んでいる世界

???「おゝいソニック」

ソニック「Whatなんだい、ティルズ?butいまは忙しいんだ!」

ティルズ「ソニック探したよもうこんなところまでいるし」

ソニック「用がないなら行っちゃうぜ」

ティルズ「なぜ勝手に行くの?」

ソニック「Lookこれを見な」

ティルズ「へゝそうなんだじゃあ行つてらっしゃい」

ソニック「行ってくるぜ!」

その前のみんなは行く準備 プロローグ（後書き）

長すぎた！

大変だ！

この先が思いやられる

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8261y/>

---

スマ村のみんなの生活

2011年11月24日18時53分発行